

令和7年度第1回宮代町地域公共交通会議 会議録

■日 時：令和7年5月28日（水）午後2時00分～午後2時40分

■場 所：宮代町保健センター 会議室

■出席者：（委員）

渋谷龍弘会長、田沼健一委員、伊藤友己委員、平子章委員、飯塚光弘委員、
川村英輝委員、熊谷茂浩委員、高橋勝己委員、郷田健一委員、金子賢一郎委員、
井上正己委員

（事務局）

企画財政課 宮下義樹主幹、小林利恵主任、安澤暁主任

健康介護課 横山岳彦主任

■欠席者：（委員）

関根肇委員、高原昭委員、遠藤正志委員

■傍聴者：2名

1 開会…事務局（宮下主幹）

2 あいさつ…渋谷会長

町内循環バスは、前回会議での決定を受け令和7年4月から3年間の運行委託契約を締結した。今年度は、宮代町の公共交通を安定的、継続的に運行していくための基礎調査とすべく、宮代町公共交通需要調査の実施を予定している。委員の皆様には、各分野での専門的な知識や利用者の目線など様々な視点からのご意見を頂きたい。

3 議事

（1）循環バス運行状況について（R6年度末）…事務局（安澤主任）より説明
令和6年4月から令和7年3月までの利用状況について前年比較を交えて報告。

委 員：曜日別の集計表はなかったか。

事務局：前回も出していない。

委 員：混んでいる曜日、時間帯がある。月曜は通院する人、買い物は土日に集約されたりするので集計してみたらいい。町職員も乗車して観察をすべき。
他に気付いた点は、混んでいる時に車いすの方が乗車されると前席2名が譲り立つことになるが、つり革は危ない。杖を突いている人やベビーカーを畳んでいる人も危ない。9時から10時の時間が混んでいて、東武動物公園駅や道仏での乗降が多い。

会 長：土日の集計が技術的に可能かどうか確認しておいてください。

(2) タクシー券利用状況について(R6年度末)・・・事務局(安澤主任)より説明
令和6年4月から令和7年3月までの利用実績について前年比較を交えて報告。

委員:「その他」にそれぞれ55%、57.1%となっているが、その内訳を開示した方がいい。

事務局:2枚同時に使用した場合、片方だけに目的を記入されると残りが無記入として「その他」に分類せざるを得ないため、「その他」の比率が比較的高く計上されてしまう。利用目的の分類がこの3種類しかない。現場に聞くと書いていただけないケースもあるようだ。

委員:配布したタクシー券のうち、どれだけ使用されたのか。結構使用されているものなのか。

事務局:資料は料金と利用状況がベースになっているので、配布枚数とイコールにはなっていない。

委員:登録人数掛ける配った金券額でトータルが出るのでは。

事務局:それは出る。配布枚数は4月に申請した方が1年間で48枚。申請月により配布枚数は月4枚ずつ減るので、大体の配布総枚数、どのくらい使用されたかの数が出る。1回申請された方には翌年度以降は郵送しているため、申請した年は使用したが、翌年は使用しなかったこともあるのかもしれない。

委員:利用目的のアンケートをされているが、利用したくてもできない人がいるのかが気になった。そういうアンケートは今後、利用者動向の把握分析や、住民ニーズの把握分析等を実施するということから、今後明らかになるということと理解すればいいか。

会長:今の点につきましては今年度の調査の中で確認をしてください。

委員:住まいが姫宮駅の近くのため、東武動物公園駅からタクシーに来てもらうことになり、送迎だけで券が使い終わってしまう。住んでいる場所が違って同じ枚数が配布されるので、もう少し何とかならないだろうか。送迎は4枚使えるとか。

委員:駅によって乗り入れているタクシーが違う。

委員:駅ごとに申請をして、乗り入れの許可を得ている。

事務局:和戸駅 東口:太平交通 西口:開設なし

東武動物公園駅 東口・西口: 太平交通、杉戸タクシー、朝日自動車

姫宮駅 東口:杉戸タクシー 西口:配車なし

委員:住まいの地域によって、どうしても使い方に差が出てしまうというのは課題。

会長:今の指摘については、地域性の解消ということで課題として今後検討してください。

(3) 宮代町公共交通需要調査の実施について…事務局（宮下主幹）より説明

今年度予定している公共交通需要調査の目的、実施内容、スケジュールについて説明。

委員：後期高齢者にタクシー券を配布するのは宮代町独自か。

委員：杉戸町は巡回バスを降りる時に、300円のタクシー乗継補助券の配布を今年度から開始した。

事務局：久喜市は行っている。ただ利用できる時間帯が決まっていたりとか、金額とかは自治体によって違う。

委員：自治体によって既存の公共交通の担い手のパターンが違うため、やり方は千差万別、自治体ごとの事情が当然あると思う。

委員：一番いいのは、久喜や春日部のタクシー等もどこから乗っても利用できる、きりりびとの運送支援のようなものがあれば。

委員：何か一つに全部を任せようとするとう無理があるため、それぞれの強み弱みを見出すのが今年の調査だと思っている。

委員：アプリ（タクシーGO）の利用は多い感じなのか。

委員：この辺りは多くないが、春日部から先の越谷、草加辺りの夜中が多い。

委員：宮代町にあった持続可能な公共交通を導入する上で、住民のニーズをしっかり把握し、交通事業者の交通資源をどうマッチングしていくか、すべてのニーズを拾うのは難しいと思うので、今年の調査はとても大切だと思う。公共交通利用動向の把握分析は、どういうものを把握して、どういうデータをどう分析するかは、いつの段階で決まってくるのか。

事務局：7月上旬にプロポーザルで決定した業者と内容を一緒に考えていく。循環バスで言えば、なるべく多くの方に利用いただける方向性を見出していければと考えている。現状の運賃100円で北から南まで多くの人を1回で運べるのはいいが、町内全域を回っているわけではないので、主要道路以外の方々をどう拾うかということになると思う。一方、全部デマンドに変えると100円では難しく、500円でドアtoドアをやるとなった時、100円で行けた方からすると500円では使えないという方も出てくるだろう。他には、アプリを使う、電話をして呼ぶ等実際宮代町にはどういったものがあるのか、また担い手はどう探していくかということも含めて、アンケートにどう入れていこうかは7月くらいに決まる。

委員：既存の交通事業者が新しい交通メニューを入れたことで疲弊してしまったら意味がないので、調整しつつ進めていただきたい。

4 その他

特になし。